

## 野川整備工事（その202）工事説明会の議事要旨

### 1 開催概要

|      |   |
|------|---|
| 日時   | 令和6年4月10日（水）13時30分～17時30分、18時00分～20時00分 |
| 場所   | 野川インフォメーションセンター（世田谷区玉川3丁目42番地）          |
| 参加人数 | 13名                                     |

### 2 主なご質問・ご意見と都の回答（要旨）

| ご質問・ご意見                             | 都の回答   |
|-------------------------------------|--|
| 多摩川からの背水とは。                         | 野川を流れる水は、通常時には多摩川へ流れているが、大雨が降り多摩川の水位が高くなると、多摩川の水が野川へ流れ込み、野川の水位が高くなる。この現象を背水という。<br>現在、国交省で多摩川の堤防を高くする工事を行っており、多摩川の堤防高が高くなると、野川で浸水被害が発生してしまう恐れがあることから、本工事で嵩上げ工事を行う。 |
| 騒音・振動を発生するような工種はあるか。                | 掘削、取壊し、杭打ち作業時に騒音・振動が発生するが、低騒音型・低振動型・排出ガス対策型の機械を使用し、周辺環境に配慮しながら施工を行っていく。  |
| アクリル板の透明度はどの程度か。設置して時間が経過しても問題ないのか。 | 新品では無色透明な素材である。若干色褪せはするが、現在の製品では、紫外線により真っ白になるようなことはない。   |
| 吉澤橋と野川水道橋で嵩上げ高が異なるのはなぜか。            | 吉澤橋と野川水道橋では地盤高が異なるため、多摩川計画堤防高 (AP+17.205m) までの嵩上げを行う際には、必要な嵩上げ高が異なる。   |
| 現在、吉澤橋付近でボーリング調査を行っているが、何の目的か。      | 鋼管杭を地中に打設するため、打設位置に支障物がないか事前にボーリング調査で確認している。   |

|  |  |
|--|--|
| <p>交通規制は行うのか。</p>                                      | <p>吉澤橋下流左岸の管理用通路約 80mについて歩道の通行止めを予定しているため、歩行者等は仮設ヤード脇の歩道を迂回願いたい。</p>   |
| <p>今回嵩上げする区間に、野川に降りるための階段があるが、どうやってアクリル防水壁を設置するのか。</p> | <p>階段部は嵩上げ高が低いことから、アクリル防水壁を設置するのではなく、コンクリート擁壁で嵩上げする。</p>   |
| <p>事業期間はいつまでか。</p>                                     | <p>令和7年度末完了を目指して工事を行っていく。</p>  |
| <p>土日祝日は工事を行うか。</p>                                    | <p>現時点では、原則行う予定はない。周辺状況等の影響によりやむを得ず休日工事を実施する際には、お知らせ等により事前に周知させていただく。</p>  |
| <p>次期工事の工事範囲となるが、野川水道橋下流右岸側に住宅が密集している。交通規制等はどうか。</p>   | <p>工事期間中は、野川水道橋から吉澤橋までの区間について、迂回路を確保した上で歩道通行止めにさせていただきたいと考えている。</p>  |
| <p>アクリル防水壁で構造的に大丈夫か。</p>                               | <p>アクリル防水壁は、多摩川計画堤防高（A. P. +17. 205m）まで水位が上昇した時の静水圧に耐えられる構造としている。（ご質問後、吉澤橋の現場を見学し、アクリル防水壁の厚さ（35mm）を確認していただいた。）</p> |